

営農 Information

インフォメーション

活き活き根づくり・おいしい米づくり

～しっかりと根を張らしましょう～

水稲農作業

「中干し」と「生育後半の水管理」

高品質・良食味米を栽培するには基本的な農作業を行うことが重要です。

中干し 必ず実行しましょう。

水田の水を抜いて、田面にひびが入り、足跡が歩いて歩ける程度にまで乾かすのが中干しです。田植え後の水田は常に水が湛えられた状態になっているため土中に酸素が供給されず、根の発育に悪影響を及ぼします。そのため、一時的に水を抜いて土中に酸素を供給し、根の伸びを促してやります。また、落水することにより、無効分けつを抑えたい丈夫な茎をつくり、稲の姿を良くすると共に、倒伏を少なくして登熟を高めます。

中干し 開始時期がポイントです。

田植え後30～35日を目安に落水を開始します。1株当たりの分けつ本数は16～20本が理想です。**開始時期が遅れないように**注意しましょう。

※天候や生育状況により開始時期は調整して下さい。

中干し時期の目安

中山間部 (キヌヒカリ) 5月10日 田植え	6月中旬
平坦部 (ヒノヒカリ) 6月10日 田植え	7月中旬



【中干し適期】

少し早いように思いますが、畦から条間の土が見えているあいだに開始します。土が見えなくなったら手遅れです。

中干しの期間は、一般的には7～10日程度ですが、砂地などの水田や乾田は期間は短くし、ややひびが入る程度、水はけの悪い水田や湿田では期間は長めにし、やや強めにひびが入る程度行います。出穂1ヶ月前までに終了しましょう。



中干し終了



中干しを終了したら入水開始します。

水管理 収穫直前まで根の活力を保つ。

中干し後は、2～3回走り水をして、その後間断灌水を行います。灌水状態に戻した後は浅水管理を続けます。

出穂1週間前頃から出穂期、穂揃い期にかけては、水稲の生育中で**最も水を必要とする**期間です。やや深水にして十分供給出来るよう水管理を行います。

収穫作業の機械化に伴い落水が早まっていますが、落水が早すぎると根の活力が低下し玄米の品質低下をきたします。収穫の約2週間前から落水を行うして下さい。

早期落水はダメ!

収穫適期

平均的な生育箇所5～6本の穂をまとめて握って、穂のもとに緑色のみみが1割程度残っている頃が適期です。適期刈り取りに心がけましょう。



けい酸質資材の投入と中干しはセットで行うとより効果が出ます。

けい酸質資材の投入と効果

力は根肥ともいわれ、根の活性・伸長を促進し稲体を丈夫にするため倒伏しにくく気象災害に強くなります。

ケイ酸の働きでデンプンを多く生成し、**加里**の働きでデンプンをモミへ運ぶ相乗効果で米粒が大きくなります。これによりタンパク質含量が薄まり、**食味が向上**します。

中干し前に、土が濡れている軟らかい状態で施用して下さい。

使い方	施肥量	圃場の状態
中間施肥 (出穂前45～30日)	20～40kg/10a	ヒタヒタ水状態で散布
中山間部	キヌヒカリ	6月中旬
平坦部	ヒノヒカリ	7月中旬

根の張りアップ!

- 冷害・高温などの異常気象時にも負けないイネに
- 養分をムダなく吸収



茎も太く強く!!

- 倒伏を軽減する
- 養分を効率よくモミへ運べるので、収量・品質を向上



ブロッコリーの栽培

ブロッコリーはアブラナ科(キャベツの仲間)で、生育温度は20度前後と冷涼な気候を好みます。

代表的な緑黄色野菜で非常に栄養価の高い野菜です。

栽培のポイント

▼加湿に弱いので、畑の水はけを良くしておきます。

▼大きく育てるコツは出来るだけ、外葉を大きくすることです。植え付け前に堆肥・元肥を十分に施し良く耕します。

① 播種・育苗

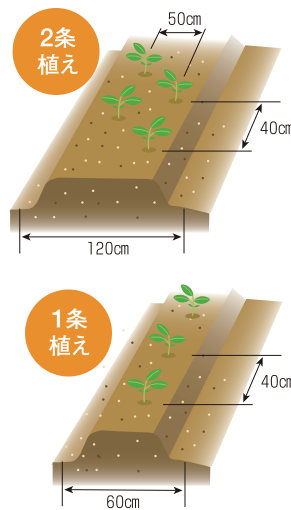
育苗箱やセルトレイなどを利用して育苗しましょう。少ない本数でよい場合はポリ鉢に直接播種してもよいでしょう。間引いて1本仕立てにします。

② 畑の準備

定植の10日前に元肥を全面に散布して耕うん、畝立てをしておきます。排水が悪い圃場では高畝にします。

③ 植え付け

本葉5〜6枚で根鉢を多く付けて植え付けます。土壌が乾燥している場合は、定植前に植え穴に十分灌水しておきます。株間40cm、2条植えの場合の条間は50cmで植え付けましょう。



④ 灌水

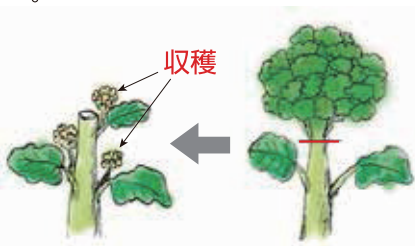
定植が夏の乾燥期のため、植え付け後は活着と初期生育を促すため十分灌水します。

⑤ 中耕・土寄せ

涼しい気候になると、急に生育が早まり倒れやすくなるため、中耕除草もかねて株元に土寄せも行いましょう。

⑥ 収穫

頂花蕾は花茎を15cm程度つけて包丁で切り取ります。側花蕾は頂花蕾を収穫後、約2週間後から収穫可能になります。茎の部分も柔らかくおいしいのでアスパラガスのように利用しましょう。



土壌分析をしてみませんか。

JA大阪北部では8月に土壌分析を行います。土壌分析は土の健康診断です。ぜひ、JA大阪北部の土壌分析を行ってみてください。



◆詳しくは各購買店舗または能勢宮農経済センターでお問い合わせ下さい。

施肥例(1アール当たり)

肥料名	元肥	追肥
堆肥	200kg	
苦土石灰	10kg	
ようりん	2kg	
燐加安14号	15kg	5kg

栽培カレンダー

月	6	7	8	9	10	11	12
種まき		←→					
植え付け			←→				
追肥・土寄せ			←→	←→			
収穫					←→	←→	